

水虫

NO、58



かゆくて気になる水虫に悩まされている人は4~5人に1人、現代病の一つになっています。

「田虫」「水虫」のいわれは、昔(江戸時代)田んぼ仕事をする時期になると、足にぼつぼつの水疱でき、とてもかゆくなったことから水の中の虫に刺されたかと思っていたそうです。現代は長靴を履いて田んぼ仕事をしています。益々増えてきた事から、



「水虫」とは虫ではないことが明らかになりました。皮膚糸状菌(多くは白癬菌)という一種のカビ(真菌)によって起こる感染症です。症状の出る場所によって、それぞれ下記のような名前が付けられています。



足：水虫
(足白癬)



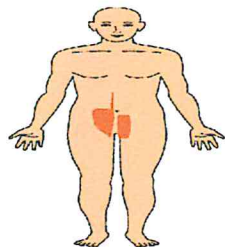
爪：爪水虫
(爪白癬)



体(顔)：たむし
(体部白癬)



頭部：しらくも
(頭部浅在性白癬)



股：いんきんたむし
(股部白癬)

■ 水虫が好む環境

家族が使うバスマットやスリッパ、ゴルフ場、銭湯や温泉、ヘルスセンターなどのバスマット、何時もはいている靴などは感染源になります。(足の水虫は人~人に感染する)汗かきの人、指と指の隙間の無い人、長靴やブーツをながく履いている人に多く見受けられます。



水虫菌(白癬菌)は人や動物のケラチン蛋白を栄養源にしているカビです。

皮膚や爪、毛などに寄生して病気を起こします。

(青カビはおもちに寄生)

■ 水虫の主な症状

★足白癬：足の指の間や足の裏の皮が剥けたり、水疱が出来痒みを伴うもの、かかどが硬くなり亀裂を起こすものがあります。(約 2500 万の人が罹患しているという)

★爪白癬：爪甲下の肥厚、破壊、爪甲の白濁などを起こすが自覚症状は症状が進むと歩行時に痛みをとまなう。(約 1100 万の人が罹患)

★体部、股部白癬：痒みを伴う紅班が環状に拡大していきます。この水虫は皮膚が薄いので薬がしみて痛いですが比較的早く治ります。

★頭部白癬：円形または不整形の脱毛斑を認め、かゆみを伴います。

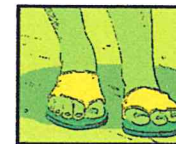


■ 水虫の診断

顕微鏡検査で真菌かどうかを確認。培養検査で原因菌を確認します。



白癬は正しい診断のもとで正しい治療をすれば根治可能です。



■ 主な水虫の治療薬

○外用抗真菌剤(軟膏、クリーム、液剤、スプレー)

- ハイアラージン軟膏
- メンタックスクリーム
- アトラントクリーム
- ゼフナートクリーム
- アスタット液(クリーム)(軟膏)
- ラミシールクリーム



(乾燥した病変にはクリームや液剤を、湿潤性病変には低刺激の軟膏を使用されると良いでしょう)

○経口抗真菌薬(肝障害などの副作用があります。他の薬との併用は医師にご相談ください)

- ラミシール錠
- イトリゾールカプセル
- グリセチンV錠



ご注意!

水虫の診断は皮膚科へ(自己判断は悪化のもと)水虫治療は途中で止めない。(再発します)乾燥、清潔を心がけ、靴やバスマットなどのむれ、共用には気をつけましょう。(洗濯物からは感染しません)